

# たきのうえ を思う

相模原市在住  
金子 温 さん



## 滝上を想う

今も時々滝上での生活を想い出します。春になると山々に咲くこぶしの花や一面を覆い尽くすタンポポの黄色いじゅうたん、アイヌネギやタラを採り天ぷらにしてみんなでよくお酒を飲みました。夏になると渚滑川でヤマメやニジマスを釣りました。ヤマメはてんぷらやフライにすると最高でした。秋は、中学校の裏山が、紅葉で赤く染まっています。このような深く鮮やかな色をした紅葉は今まで見たことがありませんでした。冬になると、仕事が終わるとよくスキー場に行きました。また保護者がワカサギ釣りに連れていってくれることもありました。そのような付き合いが出来るのも、滝上の良い所です。

私は、平成八年四月から平成十三年三月の間、滝上中学校で理科の教師としてお世話になりました。大学を卒業して、教師のスタートがこの滝上町です。私はそれまで実家のある神奈川や大学生活を送った静岡でしか生活したことがなかったので、雪国の生活も初めてでした。滝上へ赴任した日、羽田空港から旭川空港へ降り立ち、バスで滝上へ向かう途中、道路脇に積まれた雪の壁を見て、わたしがここで生活できるのだろうかと不安を感じました。しかし滝上に着くと、赴任した学校の先生から大変温かく迎え入れてもらい、そんな心配も吹き飛びました。赴任した日は、まだ荷物が届かず、持ってきた寝袋にくるまりながら寒い夜を過ごしました。

そんな私でしたが、滝上での生活を本当に満喫していました。春は山菜、夏は釣り、秋はキノコ採り、冬はスキーと、アウトドアが好きな私にとって滝上の生活は飽きることがなかったです。また街の人たちもとてもよくしてくれました。特にバスケットボール協会の人たちとは、一緒にバスケットの大会に出たり、夜遅くまで飲み明かしたりしました。休日にもよく保護者から呼ばれて飲むことが多かったです。生徒たちもよく私の家へ遊びにきました。部活動の生徒が卒業後十三人も泊まりに来たときはびっくりしました。



滝上中学校の校庭にて

私が過ごした五年間は、本当にいろいろな人に支えられました。教師として一人前に育ててくれたのはこの滝上です。いつも激励してくれた保護者の方々、新米の私を支えてくれた子供たち、滝上の人たちの温かさをいつも感じていました。滝上で教師としてスタートできたことは、私にとって貴重な財産です。今も授業の中で、時々滝上での生活のことを話すことは私にとって好きなことです。

昨年私は五歳になる息子に滝上をぜひ見せたかったので、十二年ぶりに滝上町を訪れました。私は在任中、バスケットボール部の顧問をしていました。そのときに子供たちの頑張りで、北海道ベスト4になることができました。

あと一つ勝てば全国大会でした。そのときのメンバー達と久々に再会しました。みんな三十歳を越えて、おじさんになりかけていましたが、酒を交わしながら、昔のまま想い出話をしました。とても楽しかったです。またバスケットボール協会でお世話になった井上さんの牧場へ訪れ、牧場体験を息子にさせてもらいました。牛に餌をやったり、近くの川でカラフトマスを見に行ったりしました。よほど感動したのか、息子はまた滝上に行きたいとよく言っています。

十二年前お世話になった方々にたいしてお礼を言えずに神奈川に行ったのが心残りでした。今回「ふれあいひろば」に文を載せる機会をいただき、あらためて滝上でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。ありがとうございました。



教え子と久々の再会